

「ならなぎ よりみちクラブ」活動報告

報告者： 玉尾 ひとみ

日時	2025年4月22日(火) 10時00分～15時00分	天候	晴/曇	コース名： 第55回よりみちクラブ
案内団体又は催事名	六甲高山植物園及び山上の植物観察会		人数	大人：14名

集 合：六甲ケーブル下 9時40分

ガイド：六甲案内人の会 長尾さん(シニア23期)

行 程：六甲ケーブルで山上駅 天覧台 → 神戸ゴルフ場 → 3分岐路 → 森のミュージアム →

六甲高山植物園西入口 ・・・(同園学芸員による見頃の植物ガイド 園内で昼食 自由観察)・

14:00 東口より退園(3人バス利用) → みよし観音 → 神戸ゴルフ場 → 六甲ケーブル山上駅 解散

15:00 のケーブルで下山

出席者…木邨・堀内(け)・北川・村上・上森・玉尾(洋)・山口・玉尾(ひ)・武田・田中・米村・中谷
中村(和)・橋本 計14名・・・順不同・敬称略

【六甲山の特徴】長尾さんより説明有り

- ・1700種の植物が自生し、近隣の山に比べて植生豊か。
- ・雨が多い。高度が上がるほど降水量は多くなり、山麓がよく晴れても山頂は雨が降っていたり
霧におおわれていることが多い。
- ・標高は931mであるが、現在も年間1mm高くなりつつある等、変動を続けている。

【植物園までの路上で観察した植物】

ジンバリ(別名:イワニガナ)・アケビ(雄花と雌花)・ムベ・センボンヤリ・ミズキ(横に広がる枝)
オオヤマザクラ(青森県と同じ時期に咲く、桜餅の皮、桜の葉に蜜腺があるのは、アリを呼ぶため→
アリは、害虫を食べてくれる。)・イワガラミ・ミヤマハンノキ・ニガイチゴ・ヤブウツギ(太平洋側に育つ。
一方タニウツギは日本海側に育つ)・コウヤマキ(棺桶の材料)・アオキ(花と実同時に観察できる植物。他にカゴノキ、
シロダモ)・フタバアオイの花・チョウセンレンギョの花(おしべが長い)・シナレンギョ(めしべが長い)・
ニヨイスミレ(別名:ツボスミレ)・ナガバノモミジイチゴの花・ナマヤナギの花・タチツボスミレ・
ナガバタチツボスミレ(茎葉が三角状、また葉裏が赤紫)他…

【高山植物園で観察した植物】

マムシグサ・エンコウソウ・ヒメカンアオイ・ユキモチソウ・ハシリドコロ・タツタソウ・チングルマ・
アカヤシオ・サンカヨウ・ヒュウガミズキ・オオバノエンレイソウ・カタクリ・ショウジョウバカマ・
シラネアオイ・オサバグサ・ホクリクネコノメソウ・ヒカゲツツジ・オオカニコウモリ・オオバキスミレ・
イワヤツデ

【所感】

春は植物観察には絶好の季節、多くの花々が五感を楽しませてくれた。高山植物園では中部の山や湿原に行かなければ
出会えないような花々を間近に見ることができた。



サンカヨウ



カタクリ



シラネアオイ

